


1. 直近の第三者評価の活用・対応状況

直近の第三者評価委員会における事業評価結果		事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>各路線ごとに利用者の属性や移動目的が明確に分析され、地域が主体となっていることに評価します。</p> <p>田口新城線の方向性を速やかに確定した上で、各地域の人口や利用動向・ニーズを踏まえつつ、地域間基幹系統も含めた地域公共交通網形成計画を策定することを期待します。</p>		<p>○田口新城線の方向性 新城市中心部から旧鳳来町地区を経由し、北設楽郡の中心部を結ぶ路線であり、沿線住民の移動手段として、必要な路線である。</p> <p>28年4月に本長篠海老線を四谷千枚田新城線に変更し、四谷地区の中学生及び高齢者の利便性向上を図った。</p> <p>今後も住民の交通需要を確認しつつ、よりよいバス路線となるように検討していく。</p>	<p>○地域交通網形成計画 限られた資源を有効に活用するとともに、持続可能な公共交通網の形成を図るため、平成28年度中に「地域交通網形成計画」を策定する。</p>

2. アピールポイント

【利用者促進に向けた取り組み】

- ① 利用者に配慮したバス運行時間・バスルートの見直し
各路線地域のバス利用の要望に応じたバスダイヤの改正を行った。
- ② バス利用者の満足度調査
路線バスの利用者に満足度調査を行い、調査結果をバス運行の参考にした。
- ③ ケーブルテレビ市政番組でのバス利用促進の番組放映
バス利用者増を図るために観光地PRも兼ねたケーブルテレビ市政番組の放送を行った。
- ④ バス利用を促すイベントを実施
新城軽トラ市で、新城名古屋高速バスのPRを行った。
- ⑤ 夏休み小学生50円バスの実施
豊鉄バスと東三河7市町村と協力して、夏休み小学生50円バスを実施し、利用促進を図った。
- ⑥ バスマップの配布
各世帯にバスマップを各戸配布した。